

# 空容器問題への取り組み

リデュース、リユース、リサイクルの3Rにリフューズを加えた4Rに取り組んでいます。

## 4Rの推進による空容器問題への対応

### 空容器の発生回避に向けて

宝酒造では、焼酎や清酒、チューハイ、本みりんなどを製造し、ガラスびんやペットボトル、アルミ缶、紙パックなど様々な容器に充填して販売しています。ところが、これらの商品を販売し中身が消費された後に発生する空容器は、社会に大きな環境負荷を与えています。

このため、当社ではこの空容器の問題に対処するため、リデュース (Reduce: 減量化)、リユース (Reuse: 再使用)、リサイクル (Recycle: 再資源化) の3Rにリフューズ (Refuse: 発生回避) を加えた4Rの取り組みを進めています。

リフューズとは、余分なものを買わずに必要な物だけを買うことにより、ごみを減らす活動です。「はかり売り」は、余分な容器を購入せず必要な分だけ中身を買うという意味でリフューズにあたります。

**3R+R**  
Reduce (減量化)  
Reuse (再使用)  
Recycle (再資源化)  
Refuse (発生回避)



はかり売り

**F** 環境に配慮した容器包装

**2**: 720mlリターナブルびんの推移

### 自社での取り組み

宝酒造では、「環境配慮型商品の開発」を継続的に進めています。ISO14001の毎年の目標にも掲げ、商品改良や開発を行っており、2011年度は松竹梅「天」のパウチパック採用 (P17参照) など計8件の環境配慮型商品を開発発売しました。

また、当社独自の活動として、焼酎のはかり売りを展開しています。「はかり売り」実施店の新規開拓をISO14001の目標に掲げ、焼酎のはかり売りの拡大に取り組んでいます。

「焼酎のはかり売り」は、新たな容器を使用せず中身だけを販売する「リフューズ」の実践です。お客様は家庭にあるペットボトルなどの空容器を販売店に持参し、宝酒造は1klや200lの専用タンクで焼酎を販売店に工場から直送し

ます。販売店ではお客様が持参した空容器を洗浄し、店頭でその容器にお客様が必要な分だけ詰めて販売します。

はかり売りは、資源の節約や廃棄物の削減を実現するために人手を使う販売方法であり、消費者、販売店、メーカーの信頼関係をベースにお互いが協働することで成り立っています。

現在は全国で約200店舗にご協力いただき、1998年の開始以来2012年3月までに、2.7l ペットボトルで約659万本、段ボール約165万枚を節約することができました。

### 2011年度の環境配慮型商品の開発・改良事例

- 松竹梅「天」900mlにパウチパック採用
- 松竹梅「まろやか冷酒」900mlにパウチパック採用
- タカラ「料理のための清酒」500mlにパウチパック採用
- 焼酎2.7l ペット製品の外函軽量化
- 白壁蔵金賞受賞酒の外函中仕切廃止による軽量化
- 黒壁蔵紙パック製品のキャップ軽量化

**3**: 環境に配慮した商品開発のための指針

**4**: グリーン調達・4Rガイドライン

### 各種団体との連携による取り組み

容器リサイクルを推進するためには、関連する業界全体での取り組みが不可欠です。効率的なリサイクルシステムの構築や機関誌、ホームページ、展示会などを通じた容器リサイクルの啓発活動などは、関連する業界全体で取り組むことが効果的です。

宝酒造では、ガラスびんやペットボトル、紙容器など、種々の容器について、関連するリサイクル団体に加入し、団体の活動に積極的に参加しています。

### 宝酒造が加入している主なリサイクル団体

- ガラスびんリサイクル促進協議会
- PETボトルリサイクル推進協議会
- アルミ缶リサイクル協会
- 紙製容器包装リサイクル推進協議会
- 酒パックリサイクル促進協議会